

授業科目	子ども音楽療育演習				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	CH21324J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP5-2 DP5-3			
担当教員	末成 妙子							
授業概要	実務家教員として聾学校および総合支援学校において音楽科を担当してきた経験を活かし、こども音楽療育の視点に立って、音楽の拡がりを生かして自己表現やコミュニケーションを促す音楽活動について学ぶ。障がいのあるこどもと豊かな人間関係を築いて、集団保育の中で、個を生かす音楽療育を実現する専門性を学ぶ。							
学生が達成すべき行動目標	<p>1 療育的音楽活動(音・音楽を聴く活動、身体活動、楽器活動、歌・発声の活動)の具体的な方法を学び、障がいのあるこどもとの豊かな音楽体験を積み重ねる手立てを身につける。</p> <p>2 こどもの実態把握、個別目標の設定、音楽療育の評価を適切に行う。</p> <p>3 障がいのある子ども、そうでない子ども日常の保育の中で達成感の持てる音楽活動を体験できる教材、楽曲の取り扱いを工夫する。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	70	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			30	60			90	
技能・表現 (DP5-3)				10			10	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>1 療育的音楽活動の流れを進める中で、臨機応変にこどもの反応を感じ取り臨機応変に音楽で応じることができる。</p> <p>2 こどもの実態把握に音楽的な配慮を施し、集団と個人の両方の動きに応じた活動を考えることができる。</p> <p>3 既習曲に自分なりの工夫を加え、達成感の持てる見通しを持った音楽活動を実施することができる。</p>				<p>1療育的音楽活動について学び、活動の流れを組み立てることができる。</p> <p>2調査票を作成しこどもの実態把握をしたのち個別の目標に沿った活動を考えることができる。</p> <p>3既習曲を使ってこどもとの音楽的なやり取りをし、発達を援助する。</p>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:オリエンテーション ユニバーサルデザインの音楽とは何かについて学ぶ。	演習・講義	「こども音楽療育概論」の振り返りをする	30
2	テーマ:音楽とコミュニケーション ユニバーサルデザインの7原則を音楽的な見方で検証する。音楽ワークショップの仕組みを学ぶ。	演習	身の回りのユニバーサルデザインの考え方、モノ、空間について調べる。	60
3	テーマ:リズムの力・心の発達 障がいのある子どもへの配慮がなされた楽器について解説し、それらの楽器を実際に演奏する。	演習	簡単な身近にある打楽器を探す。	60
4	テーマ:コミュニケーションと音楽活動 音楽を媒介にしたコミュニケーションについて実際の曲を使って検討する。	演習	トーンチャイムについて調べる。	60
5	テーマ:動きの発達を促す よいリズムで働きかけることと集中力、注意力の関わりに着目して動きの発達を促進させることの重要性を検証する。	演習	聴覚過敏について学習する。	60
6	テーマ:認知や社会性の発達 声を使い、社会性の発達を促す楽曲を知る。繰り返しのことば、コール・アンド・レスポンス、身近な生活の中の言葉を使った歌について検証する。	演習	季節ごとの言葉の繰り返しの多い楽曲を探す。	60
7	テーマ:言葉とコミュニケーションの発達を促す 言葉の始まりは、音の繰り返し遊びから始まり、やがて相互作用が生まれてコミュニケーションに発展していく過程を学び、実際の曲を用いて検証する。	演習	擬音語、舌打ちなど赤ちゃんの興味を引く音を探す。	60
8	テーマ:即興と合奏 美しく集団で楽しめる簡単な合奏曲を学ぶ。自由に楽器を鳴らす場面を設定することを考慮した楽曲作りをする。	演習	ピアノを使って短いフレーズにハーモニーをつけて楽譜に表わす。	60
9	テーマ:セッションの組み方1 音楽療育的な見地に立った曲の「始め」と「終わり」を丁寧に組み立てる方法を学ぶ。その過程で季節の歌の扱い方を学ぶ。	演習	曲の始めと終わりのコードに着目してコード伴奏を考える。	60
10	テーマ:セッションの組み方2 音楽療育にふさわしいリズム楽器による合奏曲について学ぶ。	演習	身近な廃材で持ちやすいシェイカーを作る。	60
11	テーマ:セッションの組み方3 自然界の音や人の気持ちを楽器で表し、短いお話と組み合わせさせて共感し合える活動場面を作る。	演習	学習した短いフレーズをピアノ伴奏を付けて弾く。	60
12	テーマ:音楽を絵本と一体化させた音楽療育 繰り返しの言葉からリズムを感じ取り、音韻にふさわしい簡単な旋律を考えて絵本とともに楽しむ世界を知る。	演習	繰り返しの言葉が印象的な絵本を声に出して何回も読み、言葉のリズムをリズム譜に表す。	60
13	テーマ:ミュージックパネルで音楽に親しむ療育 幼児に親しみやすい簡略化された図形や毎日の生活の中で目にするものを題材に、繰り返しの音楽を基本とした「ミュージックパネル」について学ぶ。	演習	幼児に親しみやすい題材を研究する	60
14	テーマ:特別支援教育におけるこども音楽療育 音楽療育に対する保護者の願いを理解する。その後、実際の音楽療育場面の録画映像を使って療育の流れを分析・精査する。	演習	録画の気づきをまとめる。	60
15	テーマ:まとめ 振り返りを行い、後期の実習に向けて注意すべき点をまとめる。	演習・講義	振り返りシートをまとめる。	60
16				

17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	こども一人ひとりに寄り添った保育を実践し、こどもの育ちを促す音楽の力を生かして授業の内容を実際の保育の場面で生かせるように、自分の得意な音楽の分野を磨いてください。			
テキスト	「静かな森のおおきな木」春秋社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「子どもの音楽療法ハンドブック」若尾裕・著 音楽之友社 「ユニバーサルデザインの音楽表現」萌文書林			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	音楽をとおしてこどもとのやりとりを楽しみ、こどもの発達を促すことができる保育者が今求められています。多様な障がいを理解し、障がいに寄り添う保育を実践するために様々な音楽のジャンルに目を向け、障がいと音楽という視点に立って視野を広めてください。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	達成度評価については毎回ミニツツペーパーを提出してもらい、その次の回で返却し、共有すべきことがあれば、全体にもその解説をします。詳細は授業の中でも詳しく述べます。			

